

2024 年 度

事 業 計 画 書

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I	根岸競馬記念公苑における事業	1
1	馬の博物館事業	1
(1)	馬に関する博物資料の展示	1
(2)	馬に関する博物資料の調査、研究	1
(3)	出版事業	1
(4)	馬に関する博物・図書資料の収集、保管	1
(5)	博物資料の修復・修理	1
(6)	博物資料の画像貸出	1
(7)	馬に関する講演会	2
(8)	他館等との交流	2
(9)	その他の協力	2
2	馬展示事業	2
(1)	馬の展示	2
(2)	厩舎管理等	2
(3)	春秋特別イベント	2
(4)	フィナーレ企画	3
(5)	馬事イベントの開催と外部協力	3
3	馬文化保存事業	3
(1)	馬事伝統行事保存事業	3
(2)	在来馬種保存事業	3
4	公苑の管理	3
II	JRA 競馬博物館における事業	3
1	JRA 競馬博物館事業	3
(1)	馬及び競馬に関する展示	3
(2)	馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開	4
(3)	競馬に関する博物資料の調査、研究	5
(4)	出版事業	5
(5)	競馬に関する博物資料の収集、保管	5
(6)	馬に関する普及活動及び学習支援	5
2	来館者への案内業務及び博物館の管理	5
III	競馬振興会館（Gate J.）における事業	5
1	競馬振興会館事業	5
(1)	馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信	5
(2)	企画展示・イベントの実施	6
(3)	馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	6
IV	広報活動	6
V	JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	6

2024年度事業計画

2024年度は、JRAが施工する「根岸競馬記念公苑の整備工事」に伴い、当財団で所蔵している博物資料を移管するため、「馬の博物館」は1月28日（日）を持ちまして閉館します。その後、12月28日（土）には根岸競馬記念公苑を休苑します。一方、当財団の定款第4条の目的を達成するため、各施設において、効果的な展示及び展示馬を中心とした馬事イベント等を企画・実施します。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館事業

(1) 馬に関する博物資料の展示

2023年12月から開催している「フィナーレ展 うまはく所蔵優品選」を2024年1月28日まで開催します。その後は、1,700件を超える博物資料及び4,000件を超える図書資料を安全かつ確実に移動させるために休館し、2028年（予定）の新装後の展示に備えます。

(2) 馬に関する博物資料の調査、研究

馬の文化について、自然科学（進化・品種等）、人文・社会科学（歴史、考古、民俗、美術工芸、馬術・乗馬、競馬等）の各分野において、広く文献収集・聴取・実地調査を行うとともに、調査結果の分析・研究を行います。

(3) 出版事業

馬に関する博物資料の調査、研究等の成果は『馬の博物館研究紀要』第24号を刊行し発表します。

(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管

馬に関する博物・図書資料を収集し、文化財保護の観点から、保存環境を整え、将来へ継承する保管、品質維持に努めます。

- ①収集した博物・図書資料については、「資料管理システム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図るとともに、文化庁が開始した文化遺産オンラインデータベースを活用することで、所蔵品情報のオープン化に努めます。
- ②博物館法改正に伴い、電磁的記録の作成及び公開が博物館の事業に新たに追加されたことから、所蔵品のデジタル化と公開の準備を迅速に進めていきます。

(5) 博物資料の修復・修理

貴重な収蔵品を適切に保存して次世代に継承するため、改築中の長期休館を活用して、複数年を要する文化財を中心に修復します。

(6) 博物資料の画像貸出

全国の博物館・美術館における馬の文化にかかわる展示・出版・映像等の企画に協力し、所蔵品の画像を貸出し広く周知されることを目指します。

(7) 馬に関する講演会

JRA や競馬サークルの各団体のみならず、全国の博物館・美術館や公共団体等の要請に応じ、馬の文化及び競馬の歴史等について講演会等を実施します。

(8) 他館等との交流

- ① 調査研究活動の成果発表により、広く学術の発展に貢献するとともに、学会・研究プロジェクト等に参加し研究交流を促進します。
- ② 日本博物館協会、全国美術館会議、神奈川県博物館協会等の行う会議、研究会、専門部会に参加するとともに、各地の博物館、教育機関と資料の相互活用及び情報交換を行います。

(9) その他の協力

- ① 横浜市及び教育委員会、近隣の小・中学校や地元自治会・町内会、隣接する根岸森林公園等と協力し、遠足・社会見学・職場体験やレクリエーション等の機会を定期的に提供してまいります。
- ② 展示用馬を活用し、ふれあいイベントの実施等、多様な体験や学習ができる機会を設けます。また、日本在来馬に関する知識の普及に励み、その保護活動に寄与します。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

身近に接する機会が少なくなっている馬について、ポニーセンターにて実馬を繋養展示します。

- ① 展示馬は、多品種の馬を繋養することとし、放牧や騎乗等の様子を紹介します。
- ② 貴重な日本在来馬については、保存活動の一助となるような展示・活用に努めます。
- ③ 根岸競馬記念公苑の整備工事に伴う休苑に向け、展示馬の退厩・移動を計画的に進めます。

(2) 厩舎管理等

展示馬の健康管理及び事故防止に万全を期すとともに、厩舎内外の衛生管理並びに来苑者への快適な展示環境の提供に努めます。

(3) 春秋特別イベント

春季は、5月5日（日・祝）に「馬とあそぼうこどもの日」を開催し、秋季は、11月上旬に「馬とのつどい2024」を開催します。

イベントは、馬事伝統芸能・アトラクションホース等の演技も企画し、来苑者に馬及び馬の文化の魅力を伝えるように努めます。

また、イベント開催にあたっては、行政や近隣地域と連携し、イベントの周知等に努め、盛り上げを図ります。

(4) フィナーレ企画

根岸競馬記念公苑が 12 月をもって一時休苑することに伴い、来苑者等、公苑運営に協力していただいた方々に対して感謝の意を表するセレモニーとなるようなイベントを開催します。

(5) 馬事イベントの開催と外部協力

- ①来苑者が実馬にふれあえる機会を設けるため、馬ににんじんを与えるイベント（「にんじんタイム」）や展示馬及び馬車の試乗会を定期的で開催します。
- ②JRA 及び競馬サークル各団体の他、教育機関・公共機関が主催するイベント等において、展示馬の出張等の協力を行います。
- ③根岸愛馬スポーツ少年団の要請に応じて、安全かつ適切な指導を行い、少年団活動に協力します。

3 馬文化保存事業

(1) 馬事伝統行事保存事業

馬に因んだ日本の伝統行事や祭事の保存・振興を図るため、馬事伝統行事を実施する団体に対して助成を行います。

(2) 在来馬種保存事業

公益社団法人日本馬事協会を通じて、日本在来馬 8 種の保存を図るための事業を実施する団体に対して助成を行います。

4 公苑の管理

12 月の休苑まで、来苑者の憩いの場として、広く利活用されるよう、計画的に種々の草花や樹木を整備し、自然環境の保持に努めるとともに、案内看板等の整備にも努めます。

II JRA 競馬博物館における事業

1 JRA 競馬博物館事業

(1) 馬及び競馬に関する展示

名馬たちの足跡や競馬の歴史等に関わる資料の収集・保管に努め、競馬に対する知識と理解を深める場を提供します。また、来館者に競馬の魅力を体感していただけるよう、各種の映像放映や体験型機器を活用します。

近年、次世代人材の育成が競馬サークル全体の大きな課題となっていることから、競馬サークルへの就業促進あるいは低年齢層への PR も念頭においた働きかけを実施します。また、各種 PR 活動により JRA 競馬博物館の認知度向上や新たなお客様の獲得を図ります。

- ①春の特別展「JRA 創立 70 周年記念 歴代年度代表馬展～70 年を彩った名馬たち～」(仮称)

その年の中央競馬を代表する年度代表馬・歴代の受賞馬には、日本競馬史に燦然と輝く名馬が数多く名を連ねており、今なお競馬ファンの記憶に残る馬が少なくありません。本展では、1954年度（昭和29）の創設時から2023年度（令和5）までの年度代表馬を一堂に紹介するとともに、中央競馬の現在に至る変遷や印象的なトピックスを併せて紹介します。

②秋の特別展「JRA 創立 70 周年記念 タイムスリップ to1954」（仮称）

JRA 創設時と現在を様々な面にて比較することで、この 70 年間の日本競馬の発展を紹介します。

③企画展 [前期] 「馬にかかわるいろいろなおしごと (4) 競馬場ではたらく “くるま”」

競馬場では、普段見慣れない多様な車が競馬の開催を支えています。今回は競馬場で働いている車にスポットを当てて紹介します。

④企画展 [後期] 「馬にかかわるいろいろなおしごと (5) 装蹄師～馬のくつやさん～」

「蹄なくして馬なし」という言葉があるほど、馬にとって蹄は重要です。時代によって、様々な蹄を護る方法が行われてきました。今回は、馬の蹄を護る装蹄師を紹介するとともに、護蹄の歴史や蹄の病気に関しても解説します。

⑤その他の展示

展示室 3 やエントランスホール等で下記の展示を実施します。

- ・「2023 年度 JRA 賞展」
- ・「新人騎手（第 40 期生）紹介展」
- ・「第 91 回日本ダービー優勝馬展」
- ・「第 44 回ジャパンカップ優勝馬展」

⑥競馬及び馬に関する常設展示

顕彰馬及び顕彰者、馬学や競馬のしくみ、日本と世界の競馬の歴史について資料やパネル説明等にて展示を行います。また「ライブシアター」、「東京競馬場歴史絵巻」等により競馬や府中の歴史文化に触れていただきます。

⑦移動展示及び他団体主催展示への協力

- ・府中市美術館との連携展示（7 月予定 府中市美術館）
市政 70 周年を記念し、東京競馬場を描いた絵画を展示するとともに競馬場の歴史なども紹介します。
- ・東京国立博物館 表慶館における JRA 創立 70 周年記念展開催協力（10 月予定）
3 週間程、表慶館を借り切った記念展への協力を行う予定です。
- ・JRA 各施設及び競馬サークル各団体等の要請に応じて競馬に関する移動展示に協力します。
- ・他の団体等が主催する馬及び馬の文化の普及に資する展示等について協力します。

(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開

- ①150 インチ中型映像装置で年間を通じて“アニメ馬物語”、“Horse Dreamer”を、また、状況に応じて競馬文化、日本の在来馬、あるいは競馬に関わる職

業等を紹介するビデオを放映します。

- ②次世代の競馬サークルへの就業促進に資することを目的に、子供たちに馬にかかわる仕事をアピールするために [前期]「馬にかかわるいろいろなおしごと (4) 競馬場ではたらく“くるま“」及び [後期]「馬にかかわるいろいろなおしごと (5) 装蹄師～馬のくつやさん～」を展示します。
- ③「Gate J. トークショー」や競馬と馬に関わる講義等を開催します。

(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究

展示に必要な文献収集・聴取・実地調査を行います。

(4) 出版事業

馬及び競馬文化について、より一層の理解醸成を図るため、各種印刷物の刊行及び映像の制作を行い、広く配布・放映します。

(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管

競馬に関する国内外の博物資料を調査し、体系的に収集、保管に努めます。収集した博物資料については、「資料管理システム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図ります。

(6) 馬に関する普及活動及び学習支援

競馬開催日及び平日に東京競馬場乗馬センターと連携し、学校教育・課外授業等のニーズに応え、多様な体験や学習ができる機会を設け、馬及び馬の文化に関する知識の普及に努めます。

2 来館者への案内業務及び博物館の管理

館内に展示物や競馬に関する知識等を習得したインストラクターを配置し、来館者へのホスピタリティ意識を持って館内案内や体験機器の説明等を行います。また、来館者の安全・安心を確保し、展示資料等の適切な維持管理のため、警備員を配置します。

体験機器については、安全かつ円滑な運用を図るため、点検等を定期的に行います。資料等については、適切な保存を図るため、定期的な燻蒸を実施するなど、博物館の環境衛生管理に努めます。

III 競馬振興会館 (Gate J.) における事業

1 競馬振興会館事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信

①Gate J.では年間を通じて常設展示及び企画展示により、馬と競馬の魅力をわかりやすく紹介し、馬の文化及び競馬に関する知識の普及を図ります。

また、館内においては、馬の博物館・JRA 競馬博物館の事業内容等の情報も積極的に発信し、来館促進の一助とします。

②Gate J.東京においては、新たなお客様を誘引するべく魅力的なイベントの開催及びPR活動を行い来館者の拡大に努めます。

(2) 企画展示・イベントの実施

①館内のパネル展示コーナーを活用し、GI レースの優勝馬や騎手の紹介等、時機に応じたテーマで企画展示を開催します。

②Gate J.東京のセミナールームでは、グリーンチャンネル番組の公開収録等を行い、来場者の興味・関心を喚起する一助とします。

その他、Gate J.出張イベントとして、根岸競馬記念公苑、JRA 競馬博物館等の施設において展示や集客イベントを開催し、馬・競馬文化の普及に努めます。

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

JRA や当財団でこれまでに制作した映像を最大限に活用し、それらを Gate J.の大型モニターやグリーンチャンネル等で放映することにより、広く馬の文化に関する知識の普及と競馬の健全な発展に努めます。

IV 広報活動

根岸競馬記念公苑・馬の博物館、JRA 競馬博物館及び Gate J.の各種情報を告知するため、財団ホームページ、Facebook、X (旧 Twitter)、JRA ホームページ及び各種配布物 (ポスター・チラシ・パンフレット等) やグリーンチャンネルでの告知放映等を実施します。

また、行政や近隣の公共機関・交通機関及び (公財) 横浜観光コンベンション・ビューロー (観光誘致担当) 等の観光団体や博物館・美術館と連携し、広報活動を行うとともに、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等、各媒体に対する情報提供や取材協力を行います。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受け、海外情報も含めた JRA 賞馬事文化賞にかかわる情報の収集等を行います。